


<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

なみき

並木まさとし



議会報告レポート第26号 45歳

発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町3-2-19-B

TEL 048-541-7777 FAX 048-543-8000 MAIL namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

県議会2月定例会が始まり、予算は前年比2,8%増の1兆8,805億2,600万円が編成されました。2025年には75歳以上の高齢者が118万人と全国一のスピードで増加し、15歳から64歳の生産年齢人口は27万人減少します。埼玉県5か年計画の最終年度となる平成28年度に向けて「2025年問題」に挑戦する施策が示されましたので、いくつかの新規事業を紹介します。

*医療・介護ネットワーク

- ・保健所・市町村・看護系大学の連携による地域包括ケアシステムの担い手の育成。医師・訪問看護師ケマネージャーなどが連携して在宅療養患者を支援するための患者情報システムの導入。
- ・総合周産期母子医療センターと県内産科医療機関を結ぶ遠隔胎児診断システムを導入。
- ・病床の機能分化、急性期病床から回復期病床への転換を行う医療機関への助成。

*健康長寿埼玉モデルの全県展開

- ・とことんモデルを2市町村から5市町村、埼玉モデルを18市町村から36市町村に拡大。
- ・シニアを応援するための協議会の設置、シニア活動ナビゲーターを設置する市町村への助成。

*医療拠点の整備

- ・周産期医療や感染症対策などの機能を強化し、高度で専門的な医療を提供するため、県立小児医療センターをH28年12月末、県立循環器・呼吸センターをH29年3月末のオープンに向けての建設工事。

*子育て・安心・安全

- ・保育所の待機児童の解消のため、6500人の保育受け入れ枠を拡大。
- ・私立学校父母負担軽減補助を年収350万円から500万円未満世帯へと全国トップレベルに拡大。
- ・警察官を11,396人から11,460(64人増)に条例を改正。
- ・集中豪雨に備え河川施設の機能向上と堤防の強化工事。
- ・若年世帯に対して子育て支援住宅(県営住宅など)をH28年は400戸、4年間で2,000戸を整備。

*産業・農業・その他

- ・企業立地ポテンシャルを高めるため、開通目標年度を設定しインターチェンジへのアクセス道路整備
- ・コメの新品種「彩のきずな」の「特A」獲得評価、販売力向上に向けた取り組みと支援。
- ・オーダーメイド型の産地の育成、高付加価値化の検討と産地での栽培実証データ構築。
- ・2019ラグビーW杯開催会場の熊谷スポーツ文化公園の改修、緑化。

統計からみる 埼玉と鴻巣

	婚姻率(千人)	犯罪率(千人)	出生率(千人)
埼玉県平均	5,1人	11,68件	8,1人
鴻巣市	4,1人	7.06件	6,8人